

畜産ネットワーク ちば

2017年10月23日
第40号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

第11回千葉県畜産フェア

11月11日(土)は船橋競馬場へ!!

入場無料 10:30~15:00



千葉の畜産を『食べよう』『話そう』『知ろう』!

乗馬やダートマラソン（要事前申込）など普段は出来ない貴重な体験ができるコーナーや焼肉、はちみつなど地元千葉県産の「美味しいもの」を味わえる店舗がいっぱい!

☆畜産物・水産物の試食販売

豚・牛焼肉、フランクフルト、牛乳・乳製品、卵・厚焼玉子、スイーツ、はちみつなど千葉県内で生産された畜水産物の試食・販売。

☆畜産フェア大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券もしくはスタンプラリーチャレンジで豪華畜産品等が当たるチャンス!!

☆堆肥無料配布（船橋市畜産協会）

☆骨密度測定（牛乳普及協会）

※販売や抽選など、時間内に終了・売切れの際はご容赦ください。

☆ふれあい広場

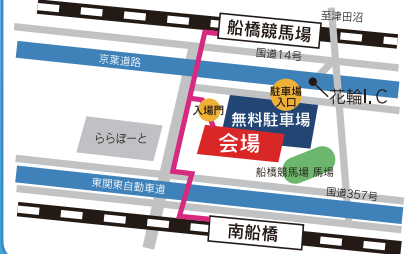
騎手イベント、乗馬体験、フリーマーケットなど。



会場／船橋競馬場

電車 京成「船橋競馬場駅」下車 徒歩5分
JR「南船橋駅」下車 徒歩10分

車 花輪 I.C. から車で5分/駐車場有
(640台・当日無料)



主催 (公社) 千葉県畜産協会
千葉県畜産物消費拡大推進協議会
千葉県畜産フェア実行委員会

後援 千葉県
船橋市

千葉県酪農農業協同組合連合会	千葉県食肉消費対策協議会	千葉県牛乳普及協会
千葉県家畜商協同組合	千葉県肉牛生産農業協同組合	房総ポーク販売促進協議会
全国農業協同組合連合会千葉県本部	千葉県酪農農業協同組合	若潮牛振興協議会
(株) 千葉県食肉公社	JA東日本くみあい飼料(株)	千葉県肉牛肥育研究会(かずさ和牛)
千葉県養蜂協会	千葉県北部酪農農業協同組合	食育ネット(株)
千葉県農業共済組合連合会	キリンビバレッジ(株)	船橋市畜産協会
(一社) 千葉県配合飼料価格安定基金協会	(公社) 千葉県獣医師会	奈良養鶏
千葉県全日本畜産経営者協会	NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター	船橋市漁業協同組合
ナイスポークチバ推進協議会	千葉県卵業協会	チバザビーフ協議会
(一社) 千葉県農業協会	(株) 堀江ファーム	旭食肉協同組合
千葉県食肉事業協同組合連合会	(株) シェフミートチグサ	(株) 惣左衛門(拍幻霜ポーク)

お問合せ先：(公社) 千葉県畜産協会 TEL. 043-242-5417 千葉県競馬組合 TEL. 047-431-2156

目次

- | | |
|---|--|
| 【1】 第11回千葉県畜産フェア | 【8】 ちば畜産レディースネットワーク会報 |
| 【2】 平成29年度 定時総会開催 | ふれあい体験教室開催 |
| 【3】 平成29年度 家畜衛生対策事業の推進状況について
肉用牛損害賠償請求 | 【9】 NPC通信(ナイスポークチバ推進協議会) |
| 【4】 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 | 【11】 平成29年度千葉県肉豚共進会 |
| 【6】 チバザビーフ協議会報 | 【12】 肉用牛肥育経営安定特別対策(牛マルキン) 事業
肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業 |

平成29年度 定時総会開催

平成29年6月26日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の平成29年度定時総会を開催し、平成28年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認について他、5議案について承認されました。

畜産情勢につきましては、高齢化による離農、労働力や後継者問題等により農家戸数が減少し、生産基盤の弱体化が懸念されております。特に酪農・肉用牛生産においては、依然として酪農家の戸数や飼養頭数の減少が著しく、生乳生産基盤の弱体化とともに肉用子牛価格の高騰による肥育経営への影響等、その対策が課題となっております。

このような状況にあって、当協会は「公益社団法人」としての社会的使命・役割を十分に認識し、県民・消費者と畜産経営者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されるよう、様々な事業に取り組み、千葉県の畜産振興に努めてまいりました。

平成28年度は、畜産経営を支援する事業として11事業、家畜衛生向上及び環境に関する事業として18事業、畜産の活性化を進める事業として3事業、畜産物の品質向上を図る事業として2事業、畜産経営の安定化を図る事業として6事業、調査研究及び研修に関する事業として1事業並びに特別事業として1事業、計42の事業を実施してまいりました。

特に、平成27年度補正予算で国において基金化された、畜産・酪農の収益力向上を目的とした畜産クラスター事業につきましては、本年度も機械導入事業の県窓口団体として地域協議会からの要望の取りまとめ、指導等を行い、経営の安定に寄与してまいりました。

また、家畜衛生関係では、酪農・肉牛においては、牛白血病、BVD-MD対策、養豚においては、オーエスキー病やPED等の慢性疾病対策事業を実施し、疾病低減による生産性の向上、さらに、高病原性鳥インフルエンザ等の悪性家畜伝染病の侵入防止対策として、飼養衛生管理基準の普及啓発等の事業を推進してきました。

なお、ナイスポークチバ推進協議会及びチバザビーフ協議会等、計10団体の事務局をも務め、生産者や関係機関・団体等の連携・協力を得ながら円滑な団体運営と効率的な事業推進を図り、第10回畜産フェアの開催並びに東京食肉市場まつり2016への参加等を通じ、県産畜産物の知名度向上、消費拡大等を図ってまいりました。

役員補欠選任の結果は、別表のとおりです。（総務課 榎屋）

《別表》役員補欠選任の結果（新規役員のみ）

役職名	氏名	所属団体・役職名等
理事	平田 昇	千葉県農業共済組合連合会 家畜部部長
理事	松木英明	公益社団法人千葉県畜産協会 総務企画部長（学識経験者）
理事	金子雅浩	農林中央金庫千葉支店 支店長
理事	富田耕太郎	千葉県農林水産部 畜産課 課長（学識経験者）
理事	鈴木 隆	ちばみどり農業協同組合 常務理事
理事	菅谷 実	かとり農業協同組合 指導経済担当常務

本誌「畜産ネットワークちば」に広告を掲載していただだけませんか！

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。

掲載料1回1万円（1回単位で申し込めます）

お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（TEL 043-242-5417）

平成29年度 家畜衛生対策事業の推進状況について

千葉県畜産協会では畜産農家が自ら行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、家畜保健衛生所及び関係機関・団体等の御協力の下に、各種支援事業を推進しております。

今回、その主な家畜衛生対策事業の進捗状況についてご報告いたします。（専務理事 松木）

【オーエスキー病清浄化対策】

オーエスキー病の清浄化対策については、平成20年度に対策指導が強化され、国が策定した防疫対策要領に基づき、汚染地域のワクチン接種の徹底、種豚全頭検査による清浄度の確認及び陽性豚の摘発・とう汰を推進してきた結果、清浄県と言えるところまでまいりました。

これは、今年度防疫対策要領が改正され、清浄化の進展が適切に地域ステータス区分に反映されるよう、野外抗体陽性豚がいなくなった地域（ワクチン接種が続いていても）を清浄地域と言えるようになったことからです。

また、いくつかの地域において事務的な手続きが残っていますが、農家及び関係機関の御理解と御努力により達成された金字塔と言えるでしょう。

今後は、モニタリングを続け、隣県の動きに注意しながら清浄性の維持に努めていくこととなります。

【地域豚疾病緊急対策推進事業】

本年度から3年間の期間において、中央畜産会の委託を受けて始めた事業です。

旭市養豚推進協議会及びその防疫部会に協力する獣医師とタイアップし、50戸強の養豚農家のPRRS対策をモデル的に実施するものです。

事業実施の柱は、**7農場を対策実践農場と定め、検査を中心とした実践的なPRRSコントロール対策の実施、全農場を対象にバイオセキュリティ対策に関する聞き取りの実施、同じく全戸の簡易検査を実施し、聞き取りと併せてその対策改善の指導、勉強会の開催、**となっています。

現場での作業は、ようやく緒についたところですが、養豚経営において負の要因となるPRRSを少しでもコントロールし、経営の改善につなげたいと考えています。

EBL（牛白血病）研修会開催のお知らせ

- 1 日 時 平成29年11月6日（月）午後1時30分から3時30分
 - 2 開催場所 ヒューマンプラザ黄鶴 平安の間（旭市鎌数9229-1）
 - 3 講 演 「なぜ牛白血病対策が必要なのか？」 講師 宮崎大学農学部獣医学科准教授 関口 敏
- ふるってご参加ください！

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎 巖

第10次肉用牛損害賠償請求をもって肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終了し、第11次から第17次請求まで検査費用の請求を行ってきました。

第18次以降の請求については、検体代と検査料を合わせて請求する内容（様式：A票）となっておりますので、よろしくお願いいたします。

また、平成29年9月20日付けで第25次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします。（事務局 飯沼）

区分	請求対象期間	請求金額	請求者数	請求日	
請求中	第25次	平成29年4月～6月	13,045千円	64名（164名）	平成29年9月20日

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 平成29年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

平成29年度通常総会が6月29日（木）午後1時30分、千葉市中央区、千葉市生涯学習センターにおいて会員63名（委任状31名を含む）、来賓16名の出席のもと開催されました。

高梨副理事長の進行により松田理事長挨拶、来賓として公益社団法人中央畜産会 衛生指導部長 守永 美夫様、公益社団法人千葉県畜産協会 専務理事 松木 英明様、千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹兼室長 井出 基雄様のご祝辞をいただいた後、理事長が議長となり、議案が審議されました。提出された議案はすべて原案どおり承認可決されました。今年度は役員改選の時期で新体制は右表のとおりです。

《平成29年度・30年度役員》

理事長（1名）	松田 延儀
副理事長（2名）	宮島 茂郎 新城 恒二
理事（7名）	高梨 勝 内田 賢一 山下 厚 唐仁原 景昭 計良 伸行 井上 貢 薫田 耕平
監事（2名）	鶴岡 則夫 山田 真希夫

○平成29年度事業実施方針

今年度は、米国やEU等とのFTA協定や円安飼料高騰等不透明な状況も多いことから、各種の情報を収集すると共に畜産振興に向け行政・団体・業界等からの畜産に係る公募事業や調査及び研究の受託に努める。また、実施に当たっては専門部会や希望会員による活動を積極的に推進する。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、千葉県農場HACCP推進指導事業やBSE検査の協力、家畜飼養や衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上等に向けて支援・推進する。

また、県や関係機関等が取り組んでいる、発酵TMRの調査研究や6次産業化の普及推進に積極的な支援をするほか、生産者と消費者、学校等との交流事業を実施し、児童生徒を対象に家畜と触れあう情操教育の場を提供するなど、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進する。



○第1回畜産研修会（総会終了後）出席者51名

演題1「県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの対応について」

講師：千葉県農林水産部畜産課家畜衛生対策室 風間 達也 副技監兼家畜衛生対策室長

県内で平成29年3月に発生した高病原性鳥インフルエンザの講演では、早期発見・通報により迅速な防疫処置ができ、周囲への伝播もなく早期に終了宣言ができたこと、最終的な動員数は自衛隊も含め約5千人との報告でした。

演題2「農場HACCP認証とJGAP認証との関連等について」

講師：公益社団法人中央畜産会 守永美夫 衛生指導部長

JGAP家畜・畜産物の目的は、①農場運営、②食品安全、③家畜衛生、④環境保全、⑤労働安全、⑥人権・福祉、⑦アニマルウェルフェアについて適切な対応が求められています。農場HACCP認証はその内の①農場の運営、②食材の安全確保（衛生対策）、③マネジメントシステム（PDCA）による改善により、健康で安全な家畜・畜産物の生産体制を確保しています。よって、農場HACCP認証農場がJGAP認証を取得する場合は、農場HACCPにない④環境保全、⑤労働安全、⑥人権の尊重、⑦快適性に配慮した家畜飼養（アニマルウェルフェア）が要求されるとのことでした。

また、中央畜産会では「GAPチャレンジ」というシステムを設け、本システムに取り組むことで、2020東京オリ・パラの食材の調達基準に合致する制度を設けるとして（現在、中央畜産会ホームページに公開されています。希望する農場は誰でもチャレンジできます）。

最新の情報を丁寧に解り易く紹介され、大変有意義な研修会でした。

2. 役員会

7月23日（日）午後3時30分から畜産協会会議室において、総会后初めての会議を開催し、今年度の主な事業活動について協議・検討しました。

（1）農場HACCP構築支援指導

本事業は（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき、県内の農場HACCP認証構築希望農場へ指導員を派遣するとともに、農場HACCP認証農場への内部検証等更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます。

酪農	: 4農場 (内 1農場 HACCP 認証取得後の指導を含む)	肉用牛	: 8農場
養豚	: 27農場 (内 8農場 HACCP 認証取得後の指導を含む)		
採卵鶏	: 5農場 (内 1農場 HACCP 認証取得後の指導を含む)	ブロイラー	: 1農場
合計	: 45農場 (内 10農場 HACCP 認証取得後の指導を含む)		

(2) 平成29年度死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託(県公募事業)

中央家畜保健衛生所(佐倉)で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する。

(会員4名、1年間 259日間 実施)

(3) 畜産研修会 千葉市内等で2回開催予定

(4) 人材紹介

千葉県農業大学校へ畜産部門9講座の非常勤講師を紹介しました。当NPO会員の活動の場を広げるため、今後とも各方面への人材紹介に努めます。

畜産に関する豊富な経験と知識を有する人材のご要望がありましたら業態の如何にかかわらず当NPOまでご連絡ください。



(5) 畜産団体事務受託事業

(公社)千葉県畜産協会や千葉県酪農農業協同組合連合会等から要請があれば本会員を派遣して事務処理に努めます。

(6) 消費者交流・動物情操教育事業

(公社)千葉県畜産協会が実施する畜産フェアに参加して、消費者に畜産を正しく理解してもらうための広報活動や「畜産なんでも相談コーナー」等を展開します。

(7) 調査・試験研究事業

畜産振興を図るうえで、行政機関や研究機関・畜産団体等からの調査・研究事業を積極的に受託、または協力・支援に努めます。今年度は(公社)千葉県畜産協会のエコフィード・発酵TMRコーディネート事業に3名の会員がコーディネーターとして協力しています。

また、野生獣衛生体制整備緊急対策事業など実施団体の要請があれば積極的に支援していくことになりました。

◎畜産フェアに出展します!!

11月11日(土)に船橋競馬場で開催される“千葉県畜産フェア”に当NPOが出展し、「畜産なんでも相談コーナー」を開設します。また、HACCPに関するパネル展示及び消費者アンケートなどを実施する予定です。会員の参加者を募集します(交通費実費支給)。

◎農場HACCP構築希望農家を募集しています

農場HACCP認証の取得に向けて指導員を派遣し、各農場に即した体制や文書・記録づくりを支援します。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局((公社)千葉県畜産協会内)

TEL: 043-241-1738 FAX: 043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>





チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。

◆平成29年度会通常総会及び研修会 (H29.7.19)

マロウドインターナショナルホテル成田において、通常総会及び研修会が開催され、約70名（千葉県、関係団体・企業、生産者等）の出席をいただきました。

通常総会では、平成28年度事業報告等、全3議案が上程され、いずれも原案どおり可決承認されました。

研修会では、テーマを二つ設け、①千葉県商工労働部 観光誘致促進課 小林 様より千葉県における訪日外国人旅行者の動向と誘致の取り組みについて、②ホシザキ関東株式会社 営業本部 コンサル室の川浪 様、高橋 様、下田 様の3名より、牛肉をよりおいしくするための調理方法と温度管理について、より安全に召し上がっていただくための正しい知識と衛生管理について、ご講演いただきました。

なお、情報提供として千葉県農林水産部 畜産課 有路 様より、飼養技術向上対策に係る枝肉成績分析及び血液検査の実施について説明いただきました。

◆チバザビーフ枝肉品評会 (H29.7.26)

東京食肉市場(株)において、第7回チバザビーフ枝肉研究会が開催されました。黒毛和種の部 27頭、交雑種の部 34頭、計61頭の出品がありました。

【受賞者一覧】

黒毛和種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	高山 和視	2,713	1,584,392	宮畜産(株)	千葉県知事賞
優秀賞	(株)高梨牧場	2,853	1,306,674	(株)石井大一商店	千葉県畜産協会会長賞
優良賞	最上 晃浩	2,382	1,545,918	アンデス食品(株)	全国畜産農業協同組合連合会長賞

交雑種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(有)コウゴ牧場	2,201	1,331,605	(株)丸全	千葉県知事賞
優秀賞	土屋 孝亮	1,697	1,203,173	(株)ウスネ	東京食肉市場株式会社 社長賞
優良賞	糸賀 光男	1,956	981,912	(株)オーエムアイ	JA 全農千葉県本部長賞

【今後の枝肉品評会等の開催日程】

《第8回チバザビーフ枝肉研究会》

◎日程 平成29年11月29日(火)

◎出品予定頭数 60頭(黒毛和種、交雑種)

《第8回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭》

◎日程 平成29年2月19日(月)【前夜祭】

2月20日(火)【枝肉共励会】

◎出品予定頭数 80頭(黒毛和種、交雑種)

◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆チバテレスペシャルウィーク (H29.5.29~6.4)

千葉テレビが企画する視聴者プレゼントキャンペーンに、今回も県産牛肉のPRのため、県産銘柄牛肉を提供いたしました。

様々な賞品がある中、チバザビーフは1番人気で、応募総数2,375通のうち715通の応募があり、5名の方に県産銘柄牛肉が送られました。



☆第3回チーバくんグルメ博覧会 (H29.5.30~6.5)

そごう千葉店において、千葉県内各地で人気の味、おいしい千葉が大集合するグルメ博覧会が開催され、(株)石井大一商店の出店によるチバザビーフ「かずさ和田」のビーフステーキ等の販売がされました。



☆千産千消フェア (H29.6.3~4)

スーパーせんだう各店において千葉県フェアが開催され、バザビーフ「若潮牛」の直売が行われました。

☆牛肉サミット2017 (H29.8.26~27)

「牛肉サミット」は有名ブランド牛である「近江牛」を生み出す滋賀県にて、牛肉を素材にした全国の様々な料理を食べ比べることができるイベントで、2011年から開催されています（開催場所：大津市大津港）。今回「肉の匠 将泰庵（船橋市焼肉店）」の出品によるチバザビーフ「みやざわ和牛」の『名物 飲むハンバーグ』が来場者投票第2位に選ばれました。（第1位は『松坂牛まるごとステーキ』（㈱朝日屋（三重県津市）））



☆組合まつり in TOKYO (H29.8.30)

東京はもとより全国の中小企業組合等の知名度アップや魅力発信の場となるイベントが東京国際フォーラムにて開催されました。東京食肉市場卸商協同組合・東京食肉買参事業協同組合の合同ブースにおいて「和牛」のPRコーナーが設けられ、銘柄の一つとして「チバザビーフ」のパンフレットの展示・配布等行われました。

☆「チバザビーフ×コズミックパラソルカフェ」コラボ企画 (H29.9.1~30)



PR大使「コズミック☆倶楽部」とのコラボ企画として、普段からチバザビーフ「かずさ和牛」を使ったハンバーグ等を提供いただいている「コズミックパラソルカフェ」のオープン1周年を記念した企画を実施。期間中に「かずさ和牛」を使用した料理を注文いただいた方に応募用紙を配布し、PR大使の3人がそれぞれおススメする牛肉（ステーキ用、焼肉用、しゃぶしゃぶ用）を抽選でプレゼントいたしました。

☆プレミアム千葉フェスタ (H29.9.22~25)

9月の「千葉が旬！販売促進月間」の一環として伊勢丹松戸店にて千葉県フェアが開催されました。本館地下1階にて、千葉ブランド水産物、チバザビーフ（「みやざわ和牛」）、チバザポーク等の県産農林水産物、及び食のちばの逸品コンテスト受賞商品等の加工品等、それから県産の食材のみを使用して作られた「千葉プレミアム弁当」が販売されました。（プレミアム弁当は24日、25日の限定販売。弁当の使用牛肉はチバザビーフ「かずさ和牛」。）



また、24日（日）には、森田健作千葉県知事も登場するセレモニーが開催され、当協議会の山崎会長、及びPR大使「コズミック☆倶楽部」も知事と一緒にセレモニーに登場、県産農林水産物のPRや抽選会が行われました。

☆2017動物感謝デー in JAPAN (H29.9.30)

駒沢オリンピック公園にて、日本獣医師会が主催するふれあいイベントが開催されました。当協議会は千葉県獣医師会のブースの一部を間借りし、県産牛肉の一口ステーキの販売及びPRを行いました。

また、ホシザキ関東㈱コンサル室の方々に協力をいただき、おいしい千葉県産の牛肉をより美味しく、そして安全に召し上がっていただける真空低温調理技術を用いて加工・調理。用意した約500食が完売となりました。

☆ちくさんフードフェア2017 (H29.10.7~8)

川崎市東扇島の日本食肉流通センターにおいて、食肉の試食・販売、家畜のふれあいができるフードフェアが開催され、㈱石井大一商店の出店ブースにてチバザビーフ「かずさ和牛」の販売や、チバザポークのカツサンド等が販売されました。

☆東葛六市レストランサミット フードフェスタ2017 (H29.10.16)



東葛六市レストランサミットは、東葛地域（松戸市、流山市、柏市、鎌ヶ谷市、野田市、我孫子市）に拠点を置くレストランオーナーが地域振興と地産地消を推進するための組織。今回、柏高島屋において、チバザビーフ「かずさ和牛」を千葉県産の共通食材として、オーナーシェフが工夫を凝らしたオリジナル料理の販売がされました。雨天のため、会場を本館屋上から3階エントランスに移しての開催となりましたが、開場直後から来客が途切れることも無く、大変盛況でした。

また、PR大使「コズミック☆倶楽部」によるミニライブとレストラン紹介等もあり、わざわざ雨の中立ち止まって、歌や話を聞く方もおりました。

◆公式ホームページの開設

イベント情報やチバザビーフを買える店・食べられる店等を記載した公式ホームページを開設いたしました。詳しくは下記アドレスを入力、または右記QRコードを読み込みアクセス下さい。（事務局 小倉）

[<http://chibathebeef.jp/>]





活動記録

1 総会・情報交換会の開催

平成29年6月27日(水)に、本年度はホシザキ関東千葉支店さんに場所をお借りして開催いたしました。会員13名、来賓を含め24名出席のもと、上程された4議案はいずれも可決承認されました。

総会終了後は、会員の方たちの畜産物をホシザキ関東さんに加工・調理していただいたランチをいただきました。どの料理もとてもおいしく、大満足でした。加工や調理について、ホシザキさんに詳しく話を聞くこともでき、大変良い機会となりました。食事の後には、例年通り情報交換会を行い、会員の皆さんの近況報告を聞いたり、初めて参加された生産者の方のお話を聞いたり、こちらも大変充実いたしました。



2 農山漁村いきいき研修会への参加

平成28年7月13日(水)に、千葉市生涯学習センターで行われた農山漁村いきいき研修会へ参加いたしました。今年度はパネルディスカッションがございましたが、当ネットワークからは理事の實川恵子さんが登壇されました。

活動予定

◆千葉県畜産フェアへの参加

平成29年11月11日(土)、船橋競馬場にて開催される千葉県畜産フェアに今年も出展いたします。

(事務局 長嶋)

★ふれあい体験教室開催★

平成29年9月10日、千葉県立北総花の丘公園(印西市)にて、消費者に畜産の生産現場や畜産の果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進を図るため、(株)シェフミートチグサのご協力のもと、第8回となる親子手作りウィンナー教室を開催しました。

体験教室へは13組27名の参加があり、美味しく出来上がったウィンナーに大変満足しているようでした。

また、室外では千葉県農業協会の出展による千葉県産豚肉を使ったしゃぶしゃぶやフランクフルトの販売が行われ、体験教室と併せて千葉県産畜産物を消費者にPRする場となりました。(総務課 榎屋)





1 Z O Z O マリスタジアムinポーク2017盛大に開催 (2017.5.20)



初夏を感じさせる好天のスタジアムでの千葉県産豚肉消費拡大イベント、今年はゴールデンウィークを避けての開催となった。今回も千葉県産豚肉100kgを2枚の鉄板で焼き上げ一皿100円で販売。売り上げの一部を熊本震災による熊本城復興支援義援金とし、来場者からの支援も合わせて実施しました。

またアンケート・クイズに答えて県産銘柄豚ロース1kg(ブロック)70本とオリジナルTシャツのプレゼント抽選を実施し養豚産業・豚・豚肉等情報を発信し県産(国産)豚肉を大いにPRしました。

2 平成29年度通常総会開催 新体制による活動スタート (2017.6.7)

平成29年度通常総会が千葉市内オークラ千葉ホテルにおいて、来賓、生産者、賛助会員等、総勢139名の出席により開催されました。

司会進行を飯田副会長が務め、藤崎副会長から開会の言葉、塩澤 英一会長から日頃のご協力、支援に対する御礼の挨拶、ご来賓として(公社)千葉県畜産協会会長・衆議院議員 森 英介先生、県を代表して伊東 健司農林水産部長、(一社)日本養豚協会 志澤 勝会長、政策金融公庫千葉支店 菊池 新吾支店長、からそれぞれご挨拶をいただいた。その他ご来賓を紹介後、議案の審議に入りました。

会場からの質問を受け、塩澤会長からチェックオフの必要性、生産者全員がこれに参加する仕組みとしての法制化、徴収はと畜場での徴収がベストである旨、説明。養豚生産者全てが恩恵を受ける活動であり、フリーライダーをなくすための法制化として、と畜場での徴収が必要である旨、説明されました。

《議案の審議》

- 第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算に関する件
- 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算(案)に関する件
- 第3号議案 会費賦課徴収に関する件
- 第4号議案 チェックオフ推進のための決議に関する件
- 第5号議案 任期満了に伴う役員を選任に関する件

また、ナイスポークの活動は各地区から選出された役員により協議され、理事会を最終決定機関として活動していることに対し理解を求め、決議書は承認されました。

決 議 書

ナイスポークチバ推進協議会は、今後想定される国際交渉において、その内容が、より厳しさを増すであろう状況に対処するため、自らの資金を基金として拠出する「とんとん自助金制度」に賛同し、その確立に向けて次の行動を実践いたします。

1. ナイスポークチバ推進協議会は組織の総意をもって、『とんとん自助金制度』創設に賛同します。
2. ナイスポークチバ推進協議会は現会員外の養豚生産者に対し、あらゆる機会をとおして『とんとん自助金制度』が経営の安定のため、将来にわたり必要不可欠な制度である事を説明し、一人でも多くの生産者の賛同を得られるよう、最善の努力をいたします。

平成29年6月7日

一般社団法人 日本養豚協会 会長 志澤 勝 殿

ナイスポークチバ推進協議会 会長 塩澤 英一



◎平成29年度記念講演

「韓国人は
なぜ日本を嫌うのか」
拓殖大学 国際学部教授
吳 善花 先生
(オ ソンファ)



なお、理事の互選による三役は次のとおり報告された。

職 名	氏 名	選出地区	備考
会 長	岩岡 喜久男	旭 市	新任
会長代理	松ヶ谷 裕	旭 市	新任
副会長	北見 則弘	市原市	再任
	飯田 裕一	成田市	再任
	鈴木 治彦	東庄町	新任
	伊藤 忠	旭 市	新任
	北田 守	山武市	新任

総会の終了後、懇親会(情報交換会)が開催され、自民党県議会議員会 畜産振興議員連盟から石毛 之行会長、石橋 清孝幹事長他8名の議員が出席され県産豚肉料理を囲み本県産豚肉の美味しさ、長生きできる豚肉料理など千葉県養豚振興を図るため生産者、関係者との交流を図りました。

(→次頁へ続く)

3 イースタンリーグin浦安2017 (2017.6.11)

空梅雨、連日30度を越える日が続く休日、この春オープンした浦安市宮野球場で開催されるイースタンリーグ公式戦(千葉ロッテ対楽天戦)に出店・展示し千葉県産豚肉を来場者にPRした。会場は、臨海のためか、風が比較的強く暑さを幾分和らげてくれた。参加イベントスタッフ16名は5班(焼肉、販売、アンケート、抽選、PR)に分かれ午後1時過ぎから焼肉を開始しました。



今回も、両監督への豚肉プレゼントセレモニーを行い、始球式では、南条日吉スポーツ少年団(横芝光町)のバッテリー(投手:実川功大くん、捕手:土屋凜泉くん)が見事な投球を見せ、会場をどよめかせました。

4 一般社団法人日本養豚協会(JPPA)平成29年度通常総会開催 (2017.6.13)

ホテルグランドパレス(東京都千代田区飯田橋)において平成29年度通常総会が開催されました。

千葉県から生産者関係者2名が参加し、懇親会では銘柄豚「恋する豚研究所」が提供され高い評価を頂きました。

開会に際し志澤 勝会長は「国民の求める52%の豚肉が国内で生産されているが、EUからの輸入豚肉が増えてきておりこれ以上自給率を下げない為の努力が必須である。JPPAでは各部会活動などを通じて、美味しい豚肉生産能力



向上や経営安定策などの勉強、活動を行ってきた。さらに、ここにきて念願であったチェックオフが制度法制化に向けて進みつつあり、チェックオフ協議会と、その作業部会が立ち上がった。養豚産業をより良い、夢のある産業として次代に継承できるようにしていくのが我々の役目なので、皆さんと結束を強めてさらに進んでいきたいと思う。JPPAをもっと力強い組織にするためにも、本日は皆さんの忌憚のないご意見をお願いします。」と挨拶されました。

来賓として自由民主党養豚農業振興議員連盟、衆議院議員 宮越 光寛会長、同衆議院議員 葉梨 康弘幹事長、農水省から生産局畜産部 大野 高志畜産部長からそれぞれ挨拶を頂きました。

神奈川県 山口 昌興氏が議長に選出され、議事の審議に入り全議案は原案通り承認されました。

記念行事として平成28年度JPPA優良経営者

- 第1号議案:平成28年度事業報告及び収支決算報告に関する件
- 第2号議案:平成29年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案:平成29年度会費の徴収に関する件

表彰者として神奈川県(有)横山養豚:横山 清氏が受賞されました。また記念講演は次の内容で行われました。

記念講演

「韓豚自助金成立の経緯と現状の活用」元韓国養豚協会専務理事 安 基洪(あんぎほん) 先生



ハンドン協会スローガン «力を出し、力を集め、力を養う»

- ①国内養豚産業を自ら守り、競争力を育てるという主人の精神
- ②農畜産分野、国内初の義務チェックオフ資金を造成するという自負心
- ③養豚農家の先駆者としての使命感、率先精神
- ④ハンドン協会組織、会長・支部長、養豚組合長も犠牲の精神

「アメリカのチェックオフ制度について」東京大学大学院 鈴木 宣弘 先生



高い効果が実証されているチェックオフ制度

米国の養豚チェックオフは、現在NPBによって推進されており、原資は、販売金額の0.4%(100ドルに対して40セント)の徴収による。日本円で100億円強の予算である。

予算支出内訳、2010年の実績は表のとおり。

ジェネリック広告	14%
広告以外の販売促進事業	51%
輸出促進(海外市場開拓)事業	10%
養豚経営の生産性向上研究調査事業	21%
豚肉需要拡大研究調査事業	4%

なお、総会及び記念講演終了後、会場を移し懇親会が開催されました。

5 新体制により県庁・県議会へ就任の挨拶 (2017.7.12)

平成29年度通常総会において改選された三役により、県農林水産部・部長室及び畜産課ほか関係部署と政策金融公庫千葉支店へ新任の挨拶のため訪問いたしました。

伊東 健司農林水産部長への挨拶としてEUとのEPA交渉が大筋合意される内容について、今後EUからの輸入豚肉が増大することにより、国産豚肉全体の価格が低下する状況となった事を踏まえ、この一年、消費拡大、チェックオフ法制化への努力、疾病対策など活発な活動をしていく旨説明しました。

また、畜産農家において女性の役割は大きいことから、過日開催されたちば畜産レディスネットワーク総会・懇親会の写真を提示し、養豚・畜産の女性陣も頑張っていることを紹介し、併せて支援をお願いしました。



また、県議会の最終日、自民党県議会議員会畜産振興議員連盟 石毛 之行会長を訪問し、意見交換を行いました。

- (1) 日EUとのEPA交渉の合意に対する、生産者の要請内容
- (2) 農業・畜産農家における雇用問題（外国人研修生等の対応）
- (3) 消費拡大の強化・ちば畜産レディースネットワークの活動紹介
- (4) 旭市養豚推進協議会のPRRS地域防疫への取り組み紹介



6 齋藤 健 農林水産大臣を表敬訪問 (2017.8.23)



(一社)日本養豚協会(JPPA)は、平成29年8月3日に発足した第3次安倍・第3次改造内閣で農林水産大臣に就任した齋藤 健 衆議院議員を表敬訪問。大臣の選挙区が千葉県第7選挙区(松戸、野田、流山市)であることから、地元千葉県の養豚生産者組織としてナイスポークチバ推進協議会役員・顧問もこれに参加いたしました。

大臣執務室に通され、初めに志澤会長から、就任のお祝いを述べ、豚肉の美味しさについて歓談。大臣から「輸入が増えているEUからのイベリコ豚について、日本の豚肉の方が美味しい・決して負けない。」との発言。志澤会長からこれ以上国産豚肉自給率が下がらないよう活動していく強い決意を述べました。

大臣から「チェックオフの必要性について」発言を頂き、当初生産者から発言を予定していただけに、法制化に向けて意を強くした訪問となりました。当選3回では異例の抜きによる就任、若手議員としての期待の大きさを強く認識できる訪問となりました。(事務局 加藤)

平成29年度千葉県肉豚共進会～佐倉市の熱田好司氏が農林水産大臣賞を受賞！～

平成29年度千葉県肉豚共進会を10月3日(火)～5日(木)旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては、91組182頭の出品があり、上物頭数126頭、上物率69.2%、平均枝肉重量76.5kgという結果であり、その中から比較審査を行い、佐倉市の熱田好司氏が名誉賞を受賞いたしました。名誉賞に輝いた熱田氏の出品豚は、雌、去勢ともに全体のバランスの良い枝肉で、モモ、カタの肉付きも良く、肋の湾曲は深く大きく、ランジリから見た肉色や肉質も大変望ましいものでした。背脂肪の付着も雌、去勢とも均一で欠点のない枝肉で、カットした第4～第5胸椎間を見ても、ロース芯は雌、去勢ともに大きく、また去勢ではロースやロース周辺の僧坊筋や広背筋にも脂肪

名誉賞受賞豚 佐倉市 熱田 好司 氏



熱田好司さんから一言

フリーダーとしての経験を活かし、血統明確で成績の良い雌豚(LW)を選抜し、肉質の良い豚生産を行なえるよう心掛けています!

交雑が見られることから締まりの良い肉質であることがわかりました。肉色も適度であることから、農林水産大臣賞を受賞されました。

◆上位入賞豚の買い増し

- ・名誉賞 1,000円/kg
- ・優等賞 (1席～2席) 100円/kg ・優等賞 (3席～5席) 50円/kg
- ・優等賞 (6席～10席) 30円/kg ・極上 30円/kg

◆褒賞授与式

今年度は褒賞授与式を、別の日に設け名誉賞を受賞した豚肉の試食(しゃぶしゃぶ)を兼ねて開催。また、(一社)日本養豚協会 小磯 常務から『今後の日本の種豚改良』について講演いただきました。

(生産課 金杉)

賞	出品No.	市町村	氏名
名誉賞	1	佐倉市	熱田 好司
優等賞 1 席	40	香取市	青柳 耕一
優等賞 2 席	80	旭市	柴田 初枝
優等賞 3 席	41	香取市	青柳 康裕
優等賞 4 席	24	東庄町	江波戸 敏雄
優等賞 5 席	65	旭市	寺嶋 英夫
優等賞 6 席	57	旭市	鮎田 恒男
優等賞 7 席	92	山武市	越川 雅次
優等賞 8 席	27	東庄町	(有)東総ファーム
優等賞 9 席	90	山武市	花澤 昭夫
優等賞 10 席	87	横芝光町	伊橋 正吉

バーコードを使って、養豚農場をスマート農業化

養豚生産管理システム
P-Cust
ピーカスト

「スムーズな事業拡大・承継」
「他業種に負けないIT技術」
ご提供します

株式会社 ポータス
PORTAS CORPORATION

☎03-5220-0011

肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

◆肥育牛補填金単価について【平成29年4月～平成29年6月販売分】

補填金の毎月払いが継続して実施されています。個体登録申込、販売・異動の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。

（単価：円/頭）

区 分	平成 29 年 4 月			平成 29 年 5 月			平成 29 年 6 月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,284,147	726,120	436,253	1211592	682,524	438,429	1,221,280	673,624	442,710
生産コスト (B)	1,099,105	739,681	505,377	1,118,398	742,951	488,364	1,123,210	744,489	491,999
差額 (C)=(A)-(B)	185,042	△13,561	△69,124	93,194	△60,427	△49,935	98,070	△70,865	△49,289
補填金単価 (C)×0.8	-	10,800	55,200	-	48,300	39,900	-	56,600	39,400

※補填金単価は100円未満切捨てです。

また、牛マルキン事業では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません。繁殖雌牛や種雄牛を申込んだ場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出して下さい。（企画課 小倉）

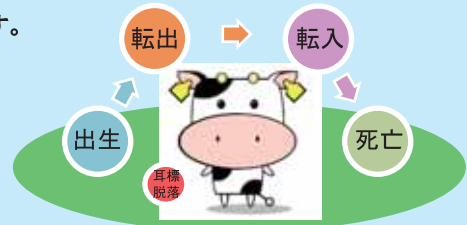
肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金及び繁殖経営支援交付金については、発動のない状況が続いておりますが、個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。（企画課 武田）

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

- ◇牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。
- ◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。
- ◇牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
 - ・牛の個体登録(育種改良)
 - ・各種補助事業への活用
 - ・牛肉の表示
 - ・乳牛の能力検定(牛群検定)
 - ・牛の診療(農業共済)
 - ・各種データの横断的利用 など
- ◇牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

●問い合わせ先：審査部登録課 TEL:03-3583-2142 URL <http://www.keiba.go.jp/>

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	